

日通1Q、日本がロジ部門けん引し出足好調

Edited By LogisticsToday On 2018/07/31

日本通運が7月31日に発表した第1四半期（4-6月期）決算は、すべての部門で増収、日本セグメントなど多くの部門で増益と好調な滑り出しとなった。

売上高は、主力のロジスティクス部門が8.7%増の4092億円となり、特に欧州セグメントで32.9%、南アジア・オセアニアセグメントで12.3%の高い伸びを示した。

営業利益は欧州セグメントが30.5%減と振るわなかったものの、日本セグメントが19.9%増となるなどけん引し、ロジ部門全体では15.2%となった。警備輸送セグメントは、人件費や燃油費の上昇を受けて50.2%の減益。

9月中間期は上期業績として初の売上1兆円台（1兆100億円、前年同期比5.6%増）、営業利益330億円（2.4%増）、通期は売上高2兆800億円（4.2%増）、営業利益770億円（9.6%増）を見込む。

■2019年3月期第1四半期

	累計（百万円）	前年同期比	対売上高利益率
売上高	516,269	8.7%	
営業利益	17,010	11.6%	3.3%
経常利益	18,336	8.3%	3.6%
純利益	10,499	-5.3%	2.0%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/322242>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.